

地域回覧用



小原中部小学校だより



令和8年1月30日

2025 第455号

文責 教頭 釜屋雄一

ぜひとも、学校
ホームページを
ご覧ください⇒



1/29 5年 朝の会「クラスの仲間との関わり方」



自己を見つめる価値あるひととき

5年生の朝の会では、担任から「クラスの仲間との関わり方」についての話がありました。

担任は、子どもたちに次のような例を示しました。
「今のクラスは、たまたま同じ年・同じ町内に生まれ、同じ電車に乗り合わせたようなもの。電車の中には、それぞれ自分の時間を過ごす人がいます。居眠りをする人、友だちと楽しく話す人、窓の外の景色を眺める人、本を読んでいる人もいるでしょう。」そして、こう問い合わせました。「電車に乗っているとき、わざわざ立ち上がって誰かのところに行き、悪口を言う人はいませんよね？ 自分も相手も気持ちよく過ごすには、どうしたらいいか考えてみましょう。」

子どもたちは、この言葉を静かに聞きながら、それぞれの胸に手を当てるように思いを深めていました。“相手の気持ちはどうだろう？”“自分の行動は、誰かを傷つけていないだろうか？”そんな姿が自然と伝わってきました。

日々の生活の中で、仲間との関わり方を見つめ直し、よりよい関係づくりへとつなげてほしいと思います。学校としても、子どもたちが安心して過ごせる学級づくりを引き続き進めてまいります。

1/29 3年 書写

一画に思いをこめて

3年生は書写の授業で、硬筆の練習にしっかりと取り組んでいます。写真のように、子どもたちは机に向かい、一画一画に集中しながら運筆を進めていました。

お手本をよく見て、文字の大きさや形、はねやはらいの向きまでていねいに確かめる姿が見られました。消しゴムを使って納得いくまで書き直したり、ポイントを確認したりしながら、よりよい文字を書くために工夫を重ねていました。

「もっときれいに書けるようになりたい」という思いが伝わってくる時間で、教室には静かな集中の空気が広がっていました。

これからも、文字を大切にしながら学びを深めていってほしいと思います。

